首都圏における青森県情報受発信交流拠点　基本計画

【概要版】

令和8年 10月 30日

拠点施設全体のコンセプト

あおもりけん

青森県を"そのまま"東京に持って来ました。
本県の「食」、「技（工芸品）」、「人（催事でのリアルＰＲ）」など、
多様な魅力を発信し、首都圏の皆様との交流を通じて、
青森のブランド力を高めていきます。

〈考え方〉

青森県の持つ魅力を拠点から発信し、交流を通じて、
青森県のブランド力向上を図る

ブランドイメージ発信のためどのような拠点としたいか

季節や地域で異なる魅力を持つ	五感を通して青森の今を感じる
「多様性」を発信する拠点	「ライブ感」のある拠点

各機能のコンセプト

物産販売機能

青森の食・技・人の背景を交えて発信

交流・催事機能

拠点全体に可変性を持たせる

空間としてどのように実現するか

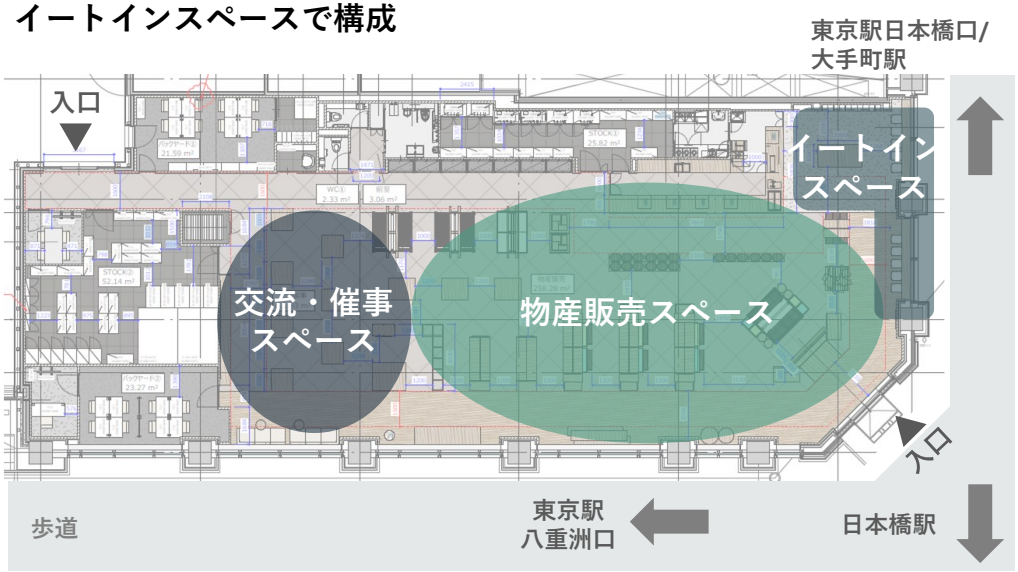
Point 01	青森で使用されている素材や道具を利用
Point 02	商品と一緒に生産者の声や背景を発信
Point 03	可変性のある什器・ディスプレイ
Point 04	多様な催事に対応できる天井の構造

物件の基本情報

【入居ビル名称】	鉄鋼ビルディング
【所在地】	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号1階
【アクセス】	JR東京駅 徒歩2分／地下鉄大手町駅 直結／ 地下鉄日本橋駅 徒歩3分
【面積】	約600㎡

ゾーニング・イメージ図

物産販売スペース、交流・催事スペース、および店内飲食が可能なイートインスペースで構成



〈入口正面〉



〈物産販売スペース〉



〈イートインスペース〉



物産販売機能

都内アンテナショップでは最大級の広さを生かし多様に商品を展開

入口付近では可変性をもった旬の商品を発信

●旬の商品・ディスプレイ

各地域の旬の産品や工芸雑貨等、青森の旬な魅力を一堂に集めたシンボル的スポットを配置。季節や催事に合わせ、テーマや商品陳列ががらりと入れ替わる。

視認性の高い位置には青森ならではのりんごを展開

●りんご・りんご加工品

生産量日本一の青森だからこその種類や商品量の多さを体感できる、旬や各地のりんご・りんご加工品を楽しめるスペース。

●りんご商品テイクアウト＆イートイン・酒類の試飲

りんご商品テイクアウト‥‥時期ごとの旬の品種を使い、季節ごとに味が変わる楽しさを感じられるスイーツやジュース等の提供。
酒類の試飲‥‥日本酒などをおすすめのおつまみとペアリングで楽しめる試飲スペースの設置。季節によって異なる銘柄をセレクト。

豊富な商品を、つくられた背景とともに発信

●農海産物・加工品

季節によって変わる新鮮な農産物、海産物の陳列や、ギフトにも使える加工品の提供。モニターやポップなどで、生産者や商品の背景がわかる情報発信を行う。

●酒・ドリンク類

りんごジュース、シードル、日本酒をはじめとした、地域ごとに異なる風土や文化から培われた酒・ドリンクの魅力を発信。

●工芸品・工芸雑貨

作られた背景、技術や手間などのストーリーを商品と一緒に発信する。

●菓子類

定番の人気菓子から、地元の人以外にあまり知られていない人気の菓子など、多様なニーズごとに提供。

●オリジナル商品

県の認知度・ブランドイメージの向上に寄与し、地域性を感じられるオリジナル商品の開発、展開も検討。

交流・催事機能

多様な催事を行い青森の多様性、食・文化・人を発信

〈拠点内で行う催事のイメージ〉

頻度低 規模大 ⟷ 頻度高 規模小

青森のエネルギーを最大化する大規模イベント	青森の関係者を育む企業・事業者イベント	誰もが気軽に参加できる地域PR・展示イベント	拠点を多様に彩る小規模イベント
〈例〉	〈例〉	〈例〉	〈例〉
交流機能 ・大規模セミナー ・ビジネスマッチング ・大規模記者会見	交流機能 ・商談会、セミナー ・採用活動 ・移住促進 ・企業誘致	交流機能 ・ファン交流会	交流機能 ・実演販売 ・ワークショップ
催事機能 ・ねぶた等の祭りの時期に合わせた、拠点イベント	催事機能 ・試食会	催事機能 ・物産PR ・マルシェ ・市町村PR ・観光PR ・展示会 ・郷土芸能披露	催事機能 ・POP-UP ・県産材を用いた玩具等の体験コーナー

スケジュール（予定）



※スケジュールは今後変動する可能性があります